

目次

		解説	ワーク
0 練習	1 いろいろな線……………	4	21
	2 いろいろな形……………	4	22
	3 基本の色……………	4	23
	4 常識・対応・影……………	4	24
	5 推理・比較……………	4	25
1 記憶	1 情景の記憶……………	5	26
			27
	2 色の記憶……………	5	28
	3 数の記憶……………	5	29
			30
	4 単語・単文の記憶……………	5	31
2 言語	5 色と位置の記憶……………	6	32
			33
	6 順番の記憶……………	6	34
	1 同頭語……………	6	35
	2 指示の聞きとり……………	6	36
	3 話の聞きとり……………	7	37
4 短文の聞きとり……………	7	38	
5 同頭語……………	8	39	
6 話の聞きとり……………	8	40	
7 話の創作……………	8	41	

		解説	ワーク
3 推理	1 関係把握……………	8	42
	2 影……………	9	43
	3 条件推理……………	9	44
			45
	4 系列……………	9	46
	5 条件推理……………	9	47
		48	
6 状態推理……………	10	49	
4 構成	1 カード構成……………	10	50
			51
	2 パズル構成……………	10	52
	3 折紙構成……………	11	53
	4 図形構成……………	11	54
	5 絵の構成……………	11	55
	6 ピクチャーパズル……………	12	56
7 パズル構成……………	12	57	
5 数量	1 順序数……………	12	58
	2 計数・多少判断……………	12	59
	3 同数発見・対応……………	12	60
	4 量概念……………	13	61
	5 計数……………	13	62
	6 加算・減算・対応……………	13	63
	7 比較……………	14	64

		解説	ワーク
6 知覚	1 同絵発見……………	14	65
	2 欠所補充……………	15	66
	3 置換……………	15	67
	4 点図形……………	15	68
	5 位置……………	15	69
	6 形の弁別……………	16	70
7 知識	1 職業……………	16	71
	2 動物の生態……………	16	72
	3 野菜と果物……………	17	73
	4 身のまわりの品物……………	17	74
	5 季節……………	17	75
	6 生き物の仲間分け……………	18	76
8 絵画制作	1 好きな絵……………	18	77
	2 はり絵……………	18	78
	3 ぬり絵……………	18	79
	4 工作……………	19	80

1 記 憶

記憶は感情、興味から始まります。日常の中でも幅広い様々な刺激を与え、お子様の感情や興味をひきだすように心がけていくことが大切です。

簡単な用事を頼んだり、ルールのある遊びをする等の機会をつくっていくと良いでしょう。

1 情景の記憶

この単元のねらい 漠然と事物を見るのではなく1つ1つを意識して見る。

①問題のやり方 P.26・27 (クレヨン使用)

P.26の絵を15秒提示します。

今、何がありましたか。○をつけましょう。

②解答

ウサギ、てんとう虫、蝶、キリン、山に○

③注意

ひとつずつ絵を見ていき、「あった」「ない」を言わせてみましょう。全部あったと言ったり、何もわからない時は、もう一度P.26の絵を見せて再度確認してみましょう。

2 色の記憶

この単元のねらい 目で見えた色を声に出して言いながら正確に記憶する。

①問題のやり方 P.28 (クレヨン使用)

(始める前にP.28右半分を切り離し、絵に色を塗っておきます)
各20秒提示します。

- 1 今見た通りにくるまをぬりましょう。
- 2 今見た通りにひまわりをぬりましょう。

②解答 省略

③注意

ひとつひとつを丁寧にぬっていくと時間がかかり、そのうちに忘れてしまいます。まず、記憶した色で印をつけておき、そのあとでぬっていく方法を覚えていくようにしましょう。

3 数の記憶

この単元のねらい 何を答えるのか指示を的確にとらえる。

①問題のやり方 P.29.30 (クレヨン使用)

P.29の絵をそれぞれ提示します。

1 10秒提示

今見たウサギの中で人参を持っているウサギは何羽でしたか。その数だけ○を書きましょう。

2 10秒提示

今見たかたつむりは何匹でしたか。その数だけ○を書きましょう。

3 15秒提示

1) 金魚はいくつありましたか。その数だけ○を書きましょう。

2) めだかはいくつありましたか。その数だけ○を書きましょう。

②解答

1 ○3つ 2 ○4つ 3 1) 金魚○4つ 2) めだか○6つ

4 単語・単文の記憶

この単元のねらい 1つ1つの言葉を注意深く正確に聞きとる。

①問題のやり方 P.31

聞く姿勢作りから始めましょう。出題側もはっきりと発音するように気を付けて下さい。

1. これから2つ(3つ、4つ)の言葉を言いますからよく聞いて、その通りに言いましょう。
2. これから短いお話をしますからよく聞いてその通りに言いましょう。

②解答 省略

③注意

単語の問題では、正しく言えれば語数を徐々に増やしてみましょう。この場合

1

記憶

数の記憶

